

恵庭市地域公共交通活性化協議会 平成21年12月21日設置



概要

恵庭市では、えにわコミュニティバス(エコバス)・代替バスを運行し、地域の足としての役割を担ってきたものの、マイカーへの依存等の理由から、エコバスの利用者数は頭打ちで、代替バス及び市内路線を運行するジェイ・アール北海道バス路線の利用者数は減少している。また、市内には交通空白地が存在し、自動車を持たない高齢者等の交通手段の確保が課題となっている。このため、利用者ニーズに合ったバス路線の再編や交通空白地域へのデマンド型交通の導入等を検討する。

○地域公共交通の現況

- ・JR千歳線(島松駅、恵み野駅、恵庭駅、サッポロビール庭園駅)
- ・北海道中央バス(千歳線)
- ・ジェイ・アール北海道バス(島松駅～恵み野駅～恵庭駅)
- ・えにわコミュニティバス(なのはなコース・さくらコース・すずらんコース)
- ・代替バス

○地域公共交通の課題

- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・不便地域、交通空白地域の存在
- ・マイカーへの依存度が高く、コミュニティバスの利用は頭打ちで、かつ代替バス・路線バスの利用が低調
- ・利用者ニーズに合ったコミュニティバスの運行

○調査の主な内容

- ・通勤者の鉄道駅へのアクセス手段の現況実態調査
- ・通勤ニーズ把握調査
- ・通勤利用を考慮したバスダイヤの検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・コミュニティバス路線の再編
- ・デマンド型交通の導入
- ・JRとコミュニティバスとの接続改善
- ・公共交通活性化を目指したモビリティ・マネジメントの実施

